

EFI-LP用タンク:WME容器 作業要領書 (コンフォート用)

- 再検査等における部品の取り付け、取り外しに関する手順については、本書を参考に作業されることを推奨致します。
なお、作業手順については、左欄の上から順番に取り外し手順を示し、右欄の下から取り付け手順を示しております。
- 本書はWME容器をベースに記載しておりますが、WKM容器につきましても本書を参考に作業をお願い致します。
なお、不明な点については、各車種毎に発行されております「修理書」を参考にしてください。
- 本書に指示されている部品番号の部品については、各ディーラにて購入可能です。

**** 無断転載禁止 ****

中央精機株式会社

②WME作業要領書改訂201406

◎この資料の記載内容は2014年6月現在のものです。

◎製品改良に伴い、型式名等、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。

<作業要領>

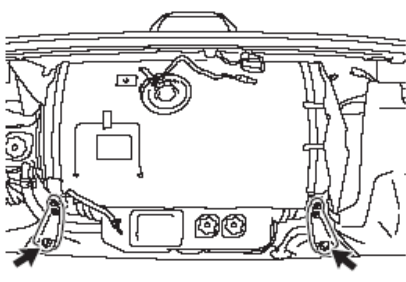
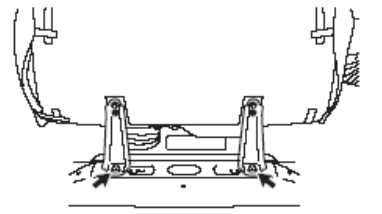
- 容器取り外し,取付作業 3~5ページ
- 吸音材取り外し,取付作業 6ページ
- カバー類取り外し,取付作業 7,8ページ
- アンダーケース・サイドケース取り外し,取付作業 9ページ
- ポンプASSY取り外し,取付作業 10,11ページ
- フューエルベーパーセパレートバルブ(安全弁)の取り外し,取付作業 12ページ
- フューエルタンク オーバフィルチェックバルブ(過防弁) 取り外し,取付作業 13ページ
- フューエルセンダゲージ取り外し,取付作業 14ページ
- 高圧フィルタ取り外し,取付作業 15ページ
- 容器本体/配管接続部 気密確認作業 16ページ

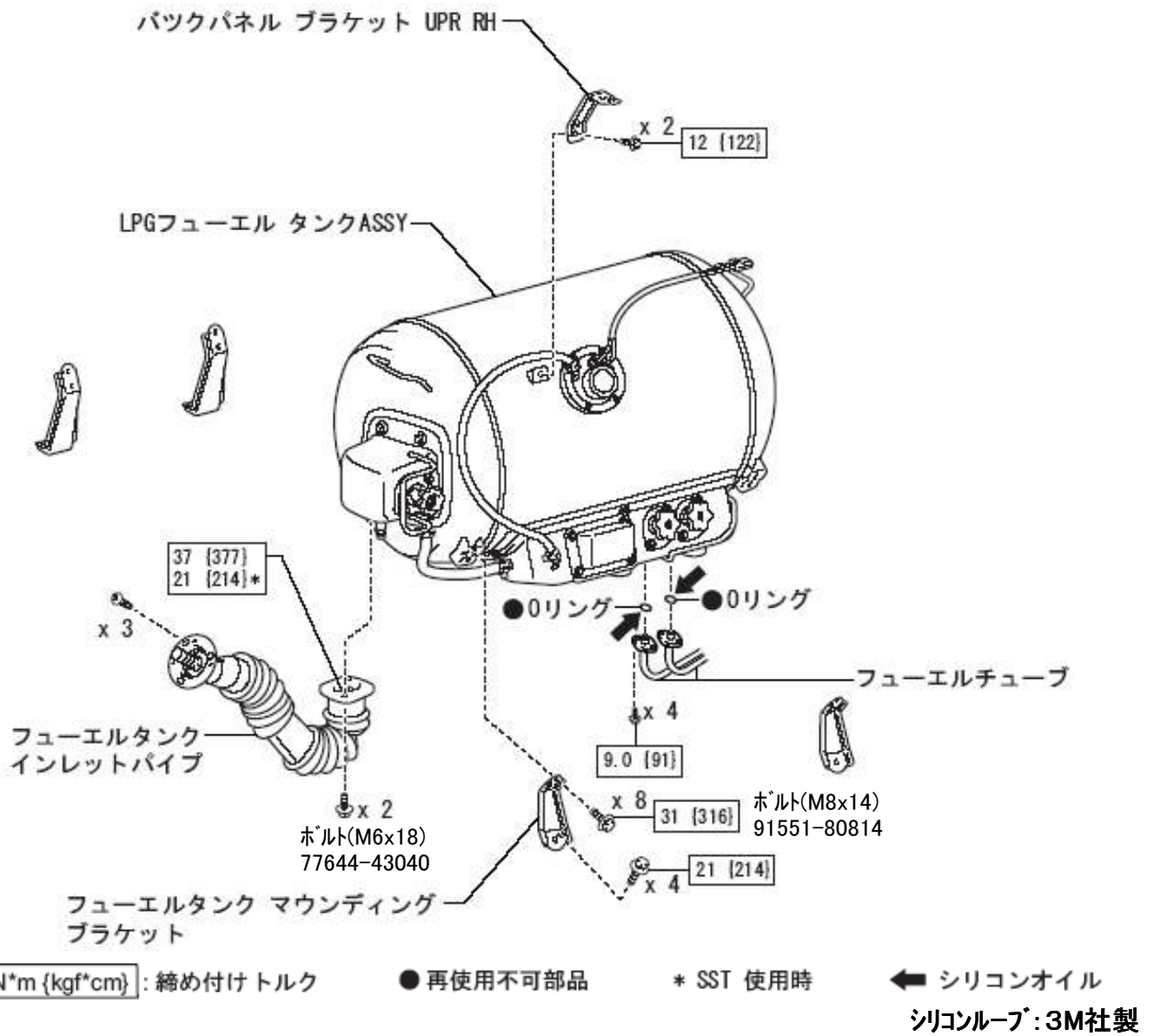
<部品識別>

- 吸音材の仕様違いについて 17ページ
- ハンドルの仕様違いについて: 充てんハンドル 18ページ
- ハンドルの仕様違いについて: メイン、リターンハンドル 19ページ
- ハンドル組付の注意点 20ページ
- ポンプフランジの識別方法について 21ページ
- フューエルベーパーセパレートバルブ(安全弁)の識別方法について 22ページ
- フューエルタンクオーバフィルチェックバルブ(過防弁)の識別方法について 23ページ
- フューエルゲージの識別方法について 24ページ

容器取り外し,取付作業

取り外し手順		作業補助図	取付手順	
1	車内 リアシートクッションASSY取り外し		12	リアシートクッションASSY取付
2	車内 リアシートバックASSY取り外し		11	リアシートバックASSY取付
3	車内 ルームパーテーションカバーS/A取り外し		10	ルームパーテーションカバーS/A取付
4	配管内燃料流出防止作業 フィード側燃料流出防止作業	(要領はトヨタ殿修理書参照)	—	—
5	トランク フロアマット取り外し		9	フロアマット取付
6	トランク トリムカバーFR取り外し		8	トリムカバーFR取付
7	ホテ下 コネクタ2個取り外し		7	コネクタ2個を接続する。
8	ホテ下 フューエルチューブ切り離し (1)ボルト4本を外し、フューエルリターン ホースASSY及びフューエルメインASSY を切り離す。 (2)配管側についているリングを 取り外してください。		6	(1)シリコンオイルを新品のリング2個 に塗布。 (2)ボルト4本で、フューエルリターンホース ASSY、メインホースASSYを接続する。
注: 配管内に圧力が残っている場合があります。 ボルトは徐々に緩めること。				
9	車外 フューエルタンクインレットパイプS/A切り離し スクリュー3本を外し、フューエルタンクインレットパイ プを切り離す。		5	スクリュー3本で、フューエルタンクインレット パイプを取り付ける。
10	トランク フューエルゲージ用コネクタを切り離す		4	フューエルゲージ用コネクタを接続する。
11	トランク ボルト2本を外して、バックパネルブラケット UPR RHを取り外す。 次ページへ続く		3	ボルト2本で、バックパネルブラケット UPR RHを取り付ける。 T=12N・m

12	トランク ボルト2本を外す。		2 ボルト2本で、フューエルタンクを取り付ける。 T=21N・m
13	車内 ボルト2本を外し、フューエルタンクを取り外す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">注: タンク下面のゴムブーツを破らないようにタンクを持ち上げながら、引き出す。</div>		1 ボルト2本で、フューエルタンクを取り付ける。 T=21N・m <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">注: タンク下面のゴムブーツを破らないようにタンクBRKTを持ち上げながら引き込む。</div>



容器搬送時の注意

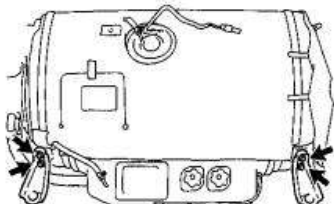
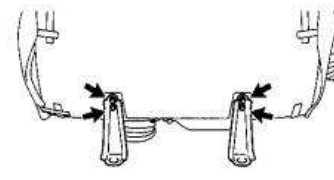

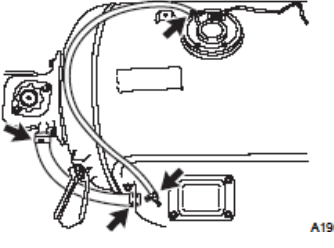
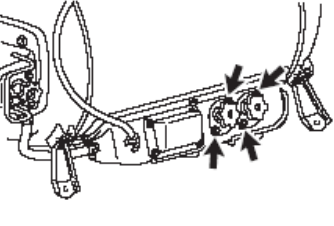
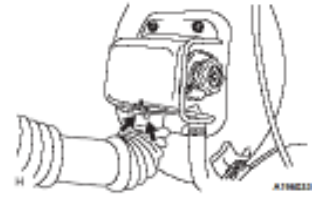
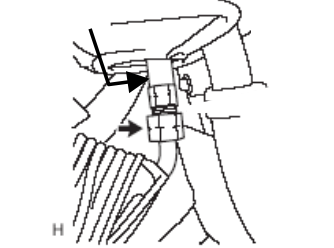

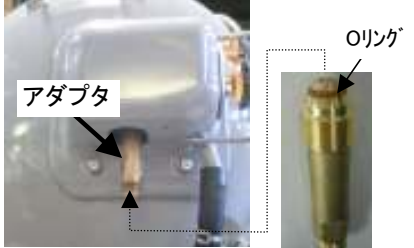
※車両から容器を降ろした後は、以下に注意すること。

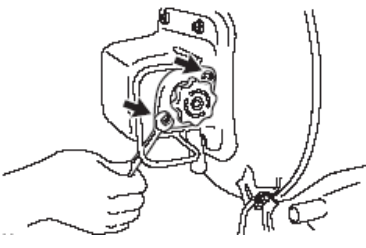
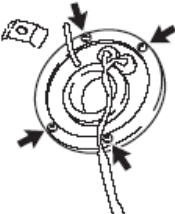

容器記号		WME・WKM・WLM・WLL (コンフォート・セトリック)	WSB(ダイヤ)
注意点			
搬送時	握手を持って搬送すること		
置く時	ケースを上に向けて置くこと	<p>目的: ケース下面から出ている部品を保護する為</p>  <p>容器保持具</p> <p>注: タケホース、ゲージハーネス、ゲージカバーが保持具と干渉しないこと</p>	<p>上向き置き</p> <p>目的: ケースから出てるボルト、フィルタを保護する為</p>   <p>注: ハーネス、コネクタが破損しないようにすること (写真は判りやすくする為、下向き置き状態)</p>

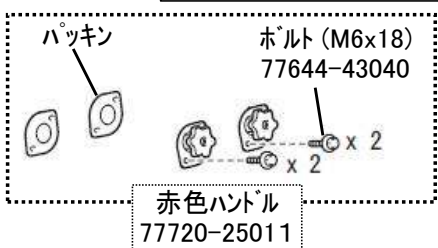
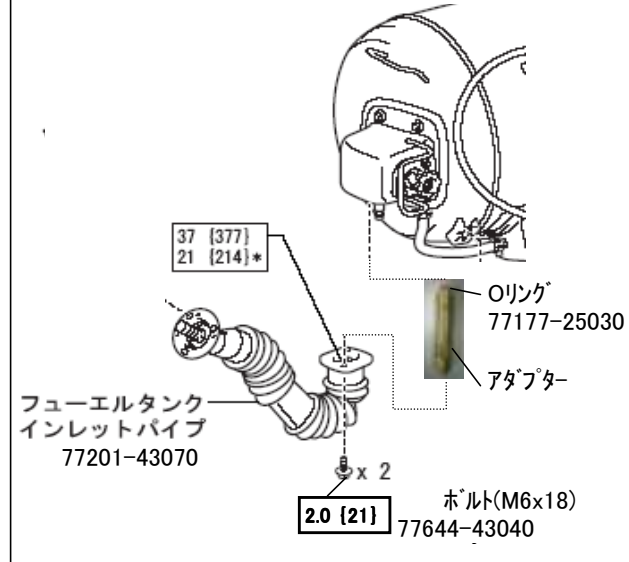
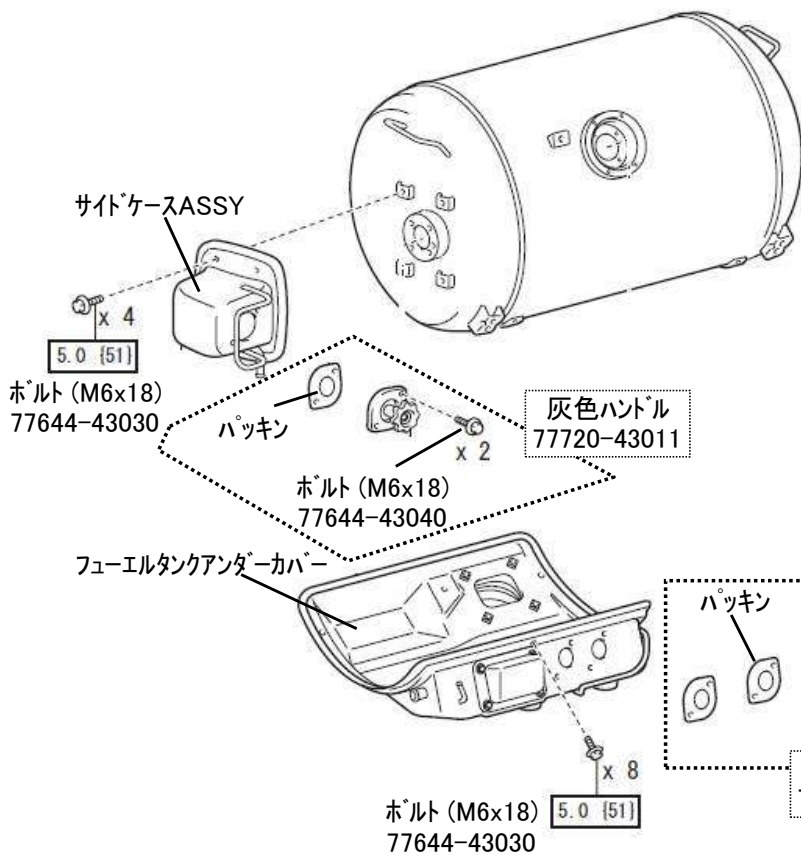
吸音材取り外し・取付作業

取り外し手順	作業補助図	
<p>1 鏡部吸音材のマジックテープを外し、鏡部の吸音材を取り外す。</p>	<p><旧タイプ吸音材の場合></p> 	<p><現行タイプ吸音材の場合></p> <p>鏡部吸音材は付いてないので、手順2から行う。</p>
<p>2 (1)胴部吸音材固定用マジックテープを外し胴部吸音材を取り外す。 (2)ダクトホース固定用マジックテープを外す。</p>	 <p>リヤ側</p> <p>ダクトホース固定用</p>  <p>フロント側 (5ヶ所)</p>	 <p>リヤ側</p> <p>ダクトホース固定用</p>  <p>フロント側 (4ヶ所)</p>  <p>ダクトホース</p> <div data-bbox="1129 1084 1506 1223" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p><組み付け時の注意></p> <p>1: 胴部吸音材固定用マジックテープはダクトホースの内側を通すこと。</p> <p>2: 胴部吸音材固定用マジックテープはアンダーケースの上を通すこと。</p> </div>
<p>3 組み付け時 ケースに付いているマジックテープと吸音材の形状を確認する。 ※【吸音材の仕様違いについて】を参照下さい。</p> <p>組み付け手順は、取り外しの逆の手順で行う。</p>	 <p>3点</p>	 <p>1点</p>

カバー類取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
<p>1 ホルトを4本外し、リアブラケットを2個を取り外す。</p>		<p>10 ホルト4本で、リアブラケットを2個取り付ける。 T=31N・m ホルト: 91551-80814</p> <p>注: RLを間違えないように注意す</p>
<p>2 ホルトを4本外し、フロントブラケットを2個を取り外す。</p> <p>注: ケース下部のゴム製ダクトへの傷付きに注意をする。</p>		<p>9 ホルト4本で、フロントブラケットを2個取り付ける。 T=31N・m ホルト: 91551-80814</p> <p>ホルト (M8x14)</p> 
<p>3 アンダーケース側のクランプ2個をずらして、ダクトホースを取り外す。</p>	 <p style="text-align: right;">A1963</p>	<p>8 クランプで、ダクトホースを取り付ける。</p>
<p>4 ホルト4本を外し、メインバルブ、リターンバルブのハンドルASSY(赤色)とパッキンを取り外す。</p>		<p>7 パッキンを介してホルト4本で、ハンドルASSY(赤色)を取り付ける。T=2.0N・m</p> <p>赤色ハンドル: 77720-25011 ホルト: 77644-43040</p> <p>注1: パッキン取付け部に異物を混入させない 注2: 取付けの際は、【ハンドルの仕様違いについて: メイン、リターンハンドル】を参照下さい。</p>
<p>5 ホルト2本を外し、フューエルタンクインレットパイプカバーを取り外す。</p>		<p>6 ホルト2本で、フューエルタンクインレットパイプカバーを取り付ける。T=2.0N・m</p> <p>ホルト: 77644-43040</p> <p>注: パイプカバー取付け部に異物を混入させない</p>
<p>6 モンキーレンチでアダプターを固定して、フューエルタンクインレットパイプを取り外す。</p> <p>注: 本部品は左ねじです</p>		<p>5 (1)フューエルタンクインレットパイプを仮付けする (2)モンキーレンチでアダプターを固定して、フューエルタンクインレットパイプを接続する。 T=37N・m</p> <p>インレットパイプはサイドケース縦面に対して垂直に接続のこと</p>  <p>注1: フレアナット接続部には、異物等を混入させない 注2: 必ずダブルスパナで接続のこと</p>
<p>7 アダプターを取り外す。</p> <p>注: 本部品は左ねじです</p> <p>次ページへ続く</p>	 <p>アダプター</p> <p>アダプター</p> <p>リング</p>	<p>4 (1)アダプターに付いているリングを新品に取り替える。 (2)アダプターをフューエルタンクオーバーフィルチェックバルブへ取り付ける。T=73.5N・m</p> <p>リング: 77177-25030</p>

8	ボルト2本を外し、ハンドルASSY(灰色)とパッキンを取り外す。		<p>(1)パッキンを介してボルト2本で、ハンドルASSY (灰色)を取り付ける。T=2.0N・m</p> <p>(2)ハンドルを左右に回してジョイントと“カチカチ”と接触してる事を音で確認すること。</p> <p>灰色ハンドル: 77720-43011 ボルト: 77644-43040</p> <p>注1:パッキン取付け部に異物を混入させない。 注2:取り付けの際は、【ハンドルの仕様違いについて: 充てんハンドル】を参照下さい。</p>
9	スクリュ4本を外し、カバーを取り外す。		<p>カバーのガスケットをしっかりと固定しスクリュ4本で、カバーを取り付ける。 T=3.0N・m</p> <p>スクリュ: 77645-43030 スクリュ(M5x10)</p> <p>注:ガスケット取付け部に異物を混入させない</p>
10	スクリュ及びコネクターを外し、カバーを取り外す。		<p>1 容器の燃料漏れ点検(気密試験)を実施の後スクリュ及びコネクタを接続する。</p>

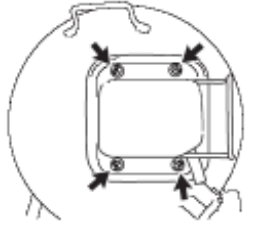
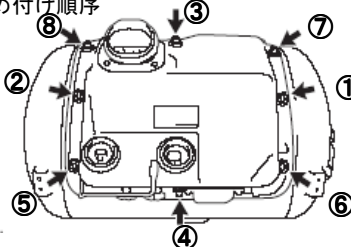


取付手順: 4

N・m {kgf・cm}: 締め付けトルク ● 再使用不可部品

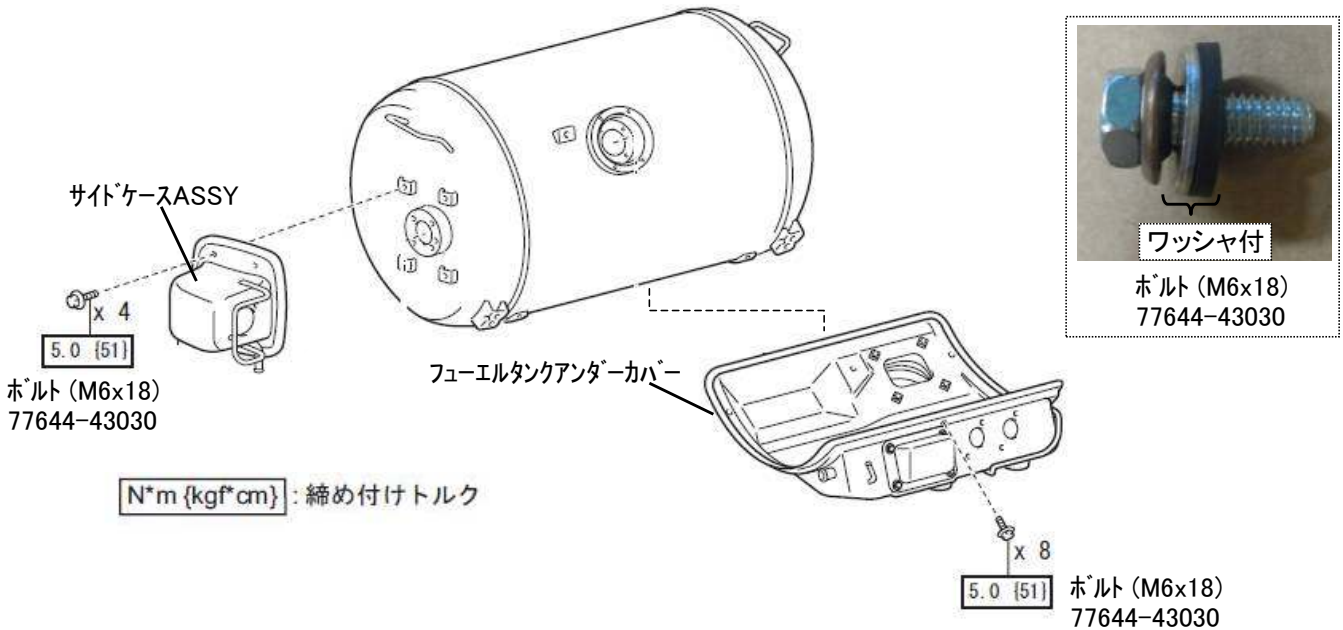
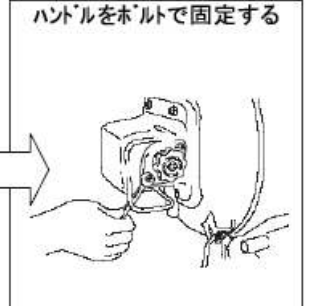
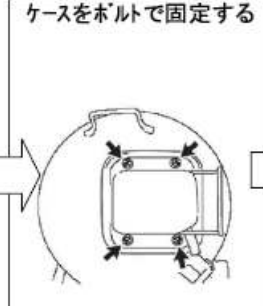
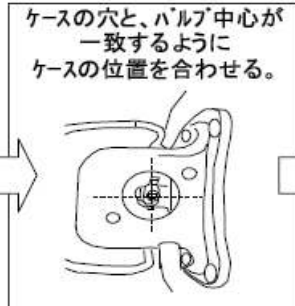
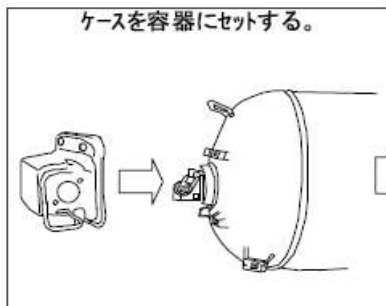
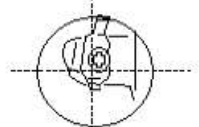
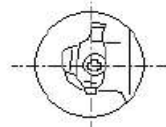
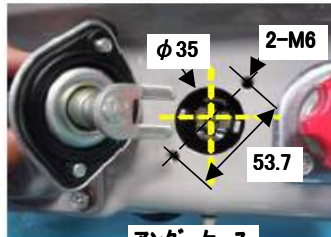


アンダーケース・サイドケース取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
<p>【カバー類取り外し作業要領】に沿って、関連部品が外された状態からの作業を示す。</p> <p>1 ホルト4本を外し、サイドケースを取り外す。</p>		<p>2 サイドケースを取り付け、ホルト4本で取り付ける。T=5.0N・m</p> <p>ホルト: 77644-43030</p> <p>注: ケース固定時、ハンドル用穴位置を合わせてから組付けること。(図示参照)</p>
<p>2 ホルト8本を外し、アンダーケースを取り外す。</p>	<p>締め付け順序</p> 	<p>1 アンダーケースを取り付け、ホルト8本で取り付ける。T=5.0N・m</p> <p>ホルト: 77644-43030</p> <p>注1: ケース固定時、ハンドル用穴位置を合わせてから組付けること。(図示参照) 注2: 位置決め穴があるので、締め付け順序通り固定すること。</p>

注1

・ハンドルの回転性を確保するために、ハンドルを組み付けるセミコンテナケースを容器に組み付ける際にケースの穴とハルブジョイント中心の芯あわせをして組み付けをしてください。(メイン、リターンハンドルも同様です)

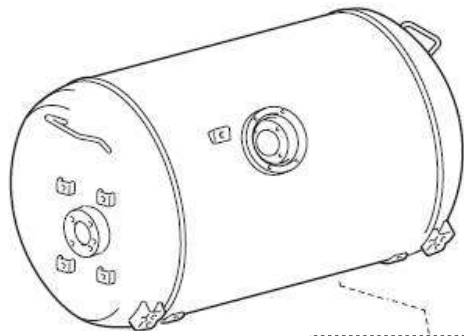


ポンプ°ASSY取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
<p>1</p> <p>安全弁のハーネスコネクタ2個を外す。 ソケットヘキサゴンレンチ(6mm)を用いて、 ポンプフランジに固定されている ハーネスコネクタブラケットを2個外す。</p>		<p>4</p> <p>安全弁のハーネスコネクタ2個を取り付ける。 ソケットヘキサゴンレンチ(6mm)を用いて、 ポンプフランジにハーネスコネクタブラケットを 2個固定する。 $T=12N\cdot m$</p> <p>ホルト: 77645-43020</p>
<p>2</p> <p>ユニオンナットレンチ(19mm)を用いて、 メインバルブからフューエルチューブを外す。 ユニオンナットレンチ(17mm)を用いて、 リターンバルブからフューエルチューブを外す。</p>	 <p>メインバルブ リターンバルブ</p>	<p>3</p> <p>ユニオンナットレンチ(19mm)を用いて、 メインバルブとフューエルチューブを取り付ける。 $T=43N\cdot m$</p> <p>注:メインチューブ締め付け時に配管と容器が 干渉しない様に隙間を設ける事 (隙間8mm程度)</p> <p>ユニオンナットレンチ(17mm)を用いて、 リターンバルブとフューエルチューブを取り付ける。 $T=23N\cdot m$</p>
<p>3</p> <p>LPGIマーゼンシバルブのホルト2本を 取り外す アダプタのホルト2本を取り外す</p> <p>LPGIマーゼンシバルブ,フューエルチューブ 及びハーネスのアセンブリを取り外す</p>		<p>2</p> <p>(1)LPGIマーゼンシバルブ及びフューエルチューブ のアセンブリを取付けてメインバルブ,リターン バルブとフューエルチューブを仮締めする ハーネスは配管と容器の間を通すこと。 (2)LPGIマーゼンシバルブ用ホルト2本、 アダプタ用ホルト2本を締め付ける $T=5.0N\cdot m$</p> <p>ホルト: 77645-43010</p> <p>注:フューエルチューブ 接続部に異物を混入させない</p>
<p>4</p> <p>ソケットヘキサゴンレンチ(8mm)を用いて、6本 のホルトを外し、ポンプとOリング を取り外す</p>		<p>1</p> <p>(1)新品のガスケットをタンクに取り付ける (2)ポンプを取り付けてソケットヘキサゴンレンチ (8mm)を用いて、ローレット付ホルト6本で ポンプを締め付ける。 $T=17N\cdot m$</p> <p>ガスケット: 77169-25020 ホルト: 77645-25030(ローレット付)</p> <p>ローレット付</p> <p>注1: 指定のホルトを必ず使用する事 注2: ガスケット取付け部に異物を混入させない 注3: 取付けの際は、 【ポンプフランジの識別方法について】 を参照下さい。</p>

ポンプ°部バルブ取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
<p>1</p> <p>ソケットヘキサゴンレンチ(6mm)を用いて、4本 のホルトを外し、バルブを取り外す</p>		<p>1</p> <p>シリコンオイルを塗布した新品Oリングをバルブに 取り付け、ソケットヘキサゴンレンチ(6mm)を用い て、4本のローレット付ホルトを取り付ける $T=8.5N\cdot m$ Oリング</p> <p>ホルト: 77644-25010</p> <p>メインバルブ リターンバルブ</p> <p>注: Oリング 取付け部に異物を混入させない</p>



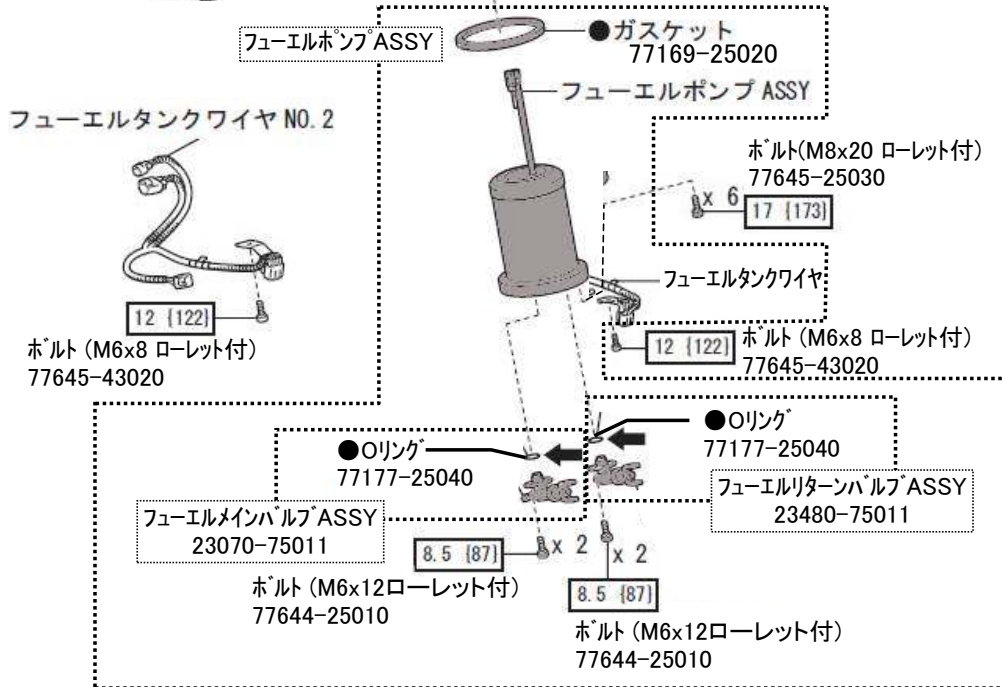
N*m {kgf*cm} : 締め付けトルク

● 再使用不可部品

* ユニオンナットレンチ 使用時

← シリコンオイル

シリコンルーフ: 3M社製

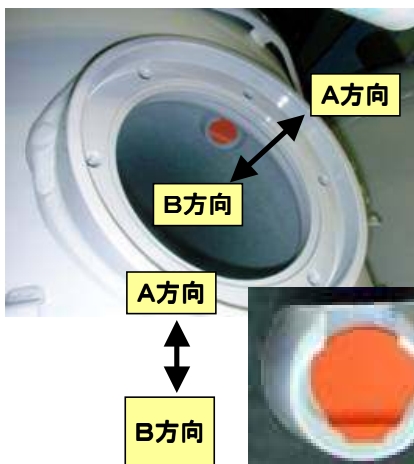
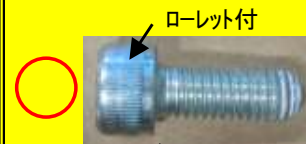


ガスケットが容器取り付け部にしっかりと配置された状態で、部品を固定してください。

ポンプ部に使用するホルト種類



注: ポンプの固定に用いるホルトは、必ず指定ホルトを使用下さい。

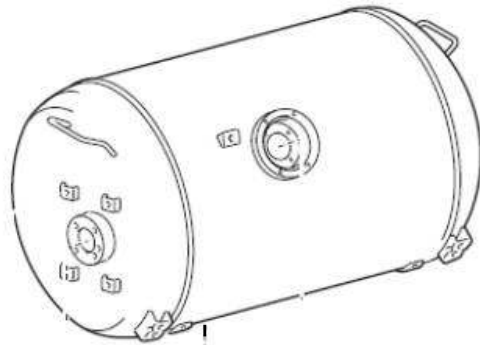


VALVE, FUEL CHECK: 23769-75010 (2個使い)

ポンプを取り出すと、容器側に2ヶ所赤茶色のゴム部品がセットされております。耐圧試験後の内部乾燥等で熱をかける場合は、これを取り外してから試験ください。取り外す場合は、ペンチ等で白色の樹脂の壁部分をはさみ、引き抜くように取り外してください。試験後、新品部品の方向を間違えずに、確実にはめ込みください。

フューエルベーパーセパレーターバルブ(安全弁)の取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
<p>1</p> <p>ソケットヘキサゴンレンチを使用してボルト4本を外し、フューエルベーパーセパレーターを取り外す。 Oリングを取り外す。</p>		<p>1</p> <p>(1)新品のOリングを容器取り付け部に取り付ける。 (2)ソケットヘキサゴンレンチ(8mm)で、ボルト4本でフューエルベーパーセパレーターバルブを取り付ける。 T=17N・m</p> <p>注1: Oリング取り付け部に異物を混入させない 注2: 取り付けの際は、 【フューエルベーパーセパレーターバルブ(安全弁)の識別方法について】を参照下さい</p>



ボルト: 77645-25020
Oリング単体: 77177-25010
安全弁: 77278-43020(Oリング含む)

フューエルベーパーセパレーターバルブ
77018-43020

77177-25010
●Oリング



x 4


ボルト (M8x18) 17 (173)
77645-25020

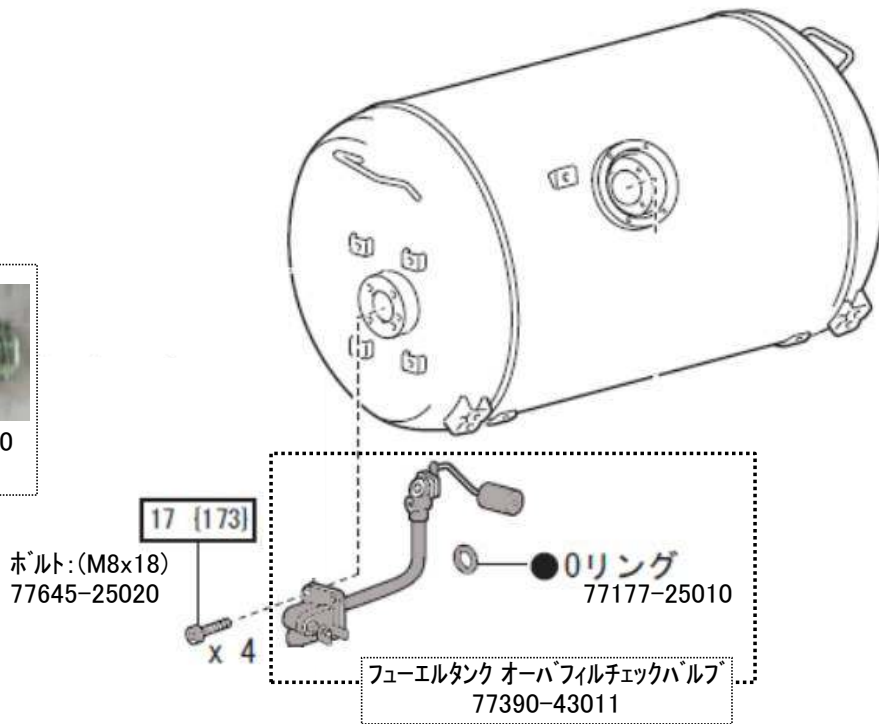
N*m {kgf*cm}: 締め付けトルク ● 再使用不可部品



Oリングが容器取り付け部にしっかりと配置された状態で、部品を固定してください。

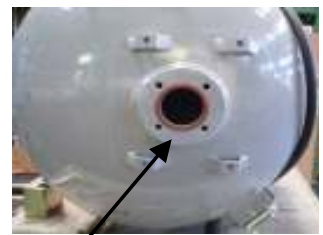
フューエルタンク オーバーフィルチェックバルブ(過防弁) 取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
<p>1</p> <p>ソケットヘキサゴンレンチを用いて、ホルト4本を外し、フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブを取り外す。 Oリングを取り外す。</p>		<p>1</p> <p>(1)新品のOリングをタンク取付部に取付ける。 (2)ソケットヘキサゴンレンチ(8mm)を用いて、ホルト4本でフューエルタンクオーバーフィルチェックバルブを取り付ける。T=17N・m</p> <p>Oリング: 77177-25010 ホルト: 77645-25020</p> <p>注1: Oリング 取付け部に異物を混入させない 注2: 取付の際は、 【過充てん防止装置の組付時の注意点について】及び【フューエルタンク オーバーフィルチェックバルブ(過防弁)の識別方法について】を参照下さい。</p>



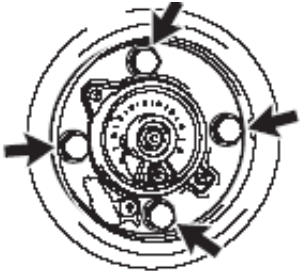
N*m {kgf*cm} : 締め付けトルク

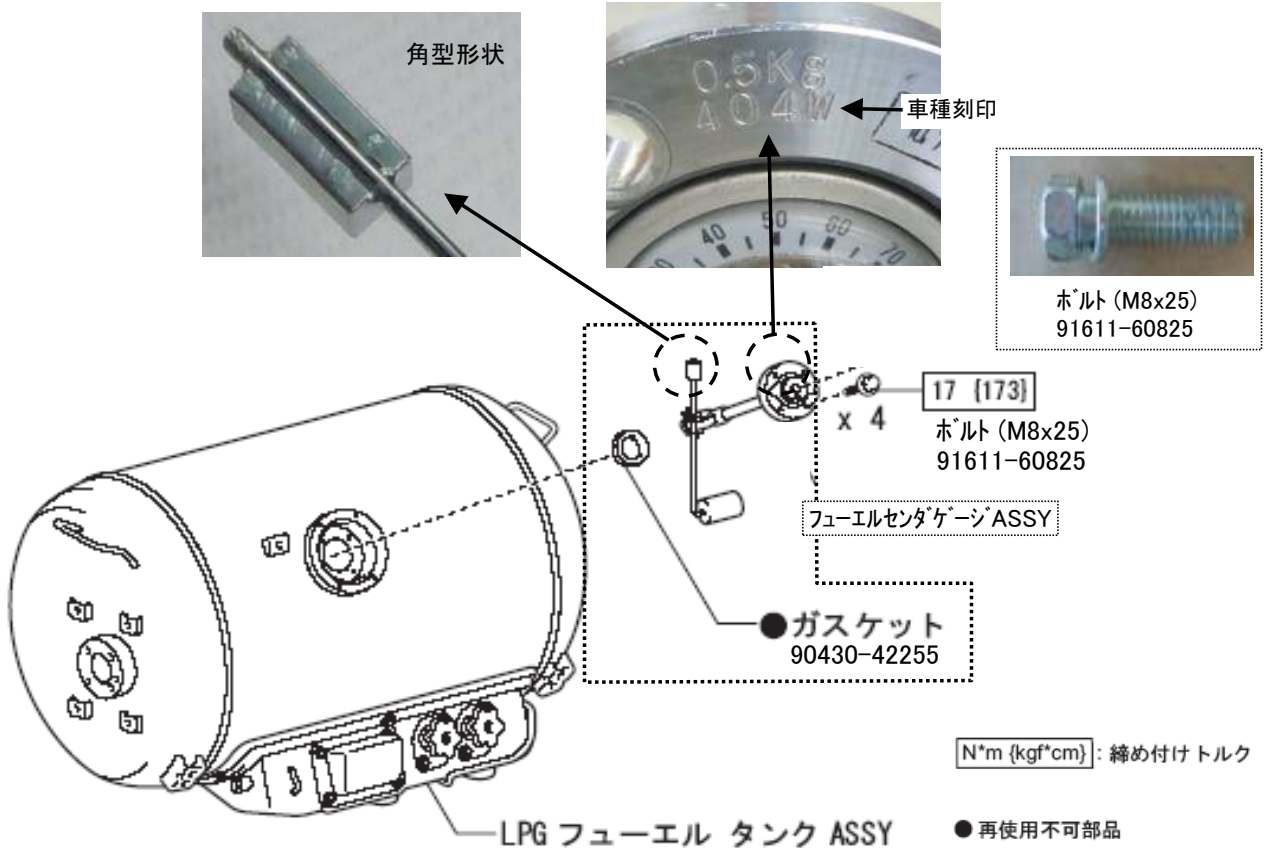
● 再使用不可部品



Oリングが容器取り付け部にしっかりと配置された状態で、部品を固定してください。
容器を立てて作業することを推奨します

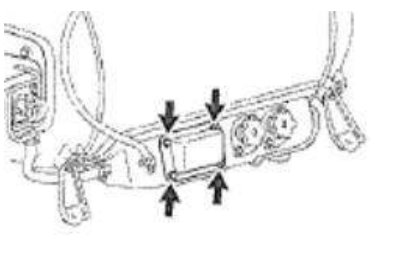
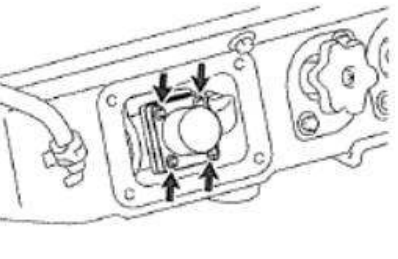
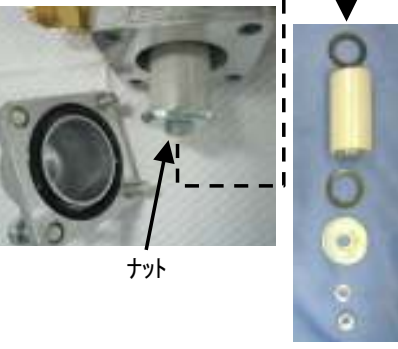
フューエルセンダゲージ取り外し,取付作業

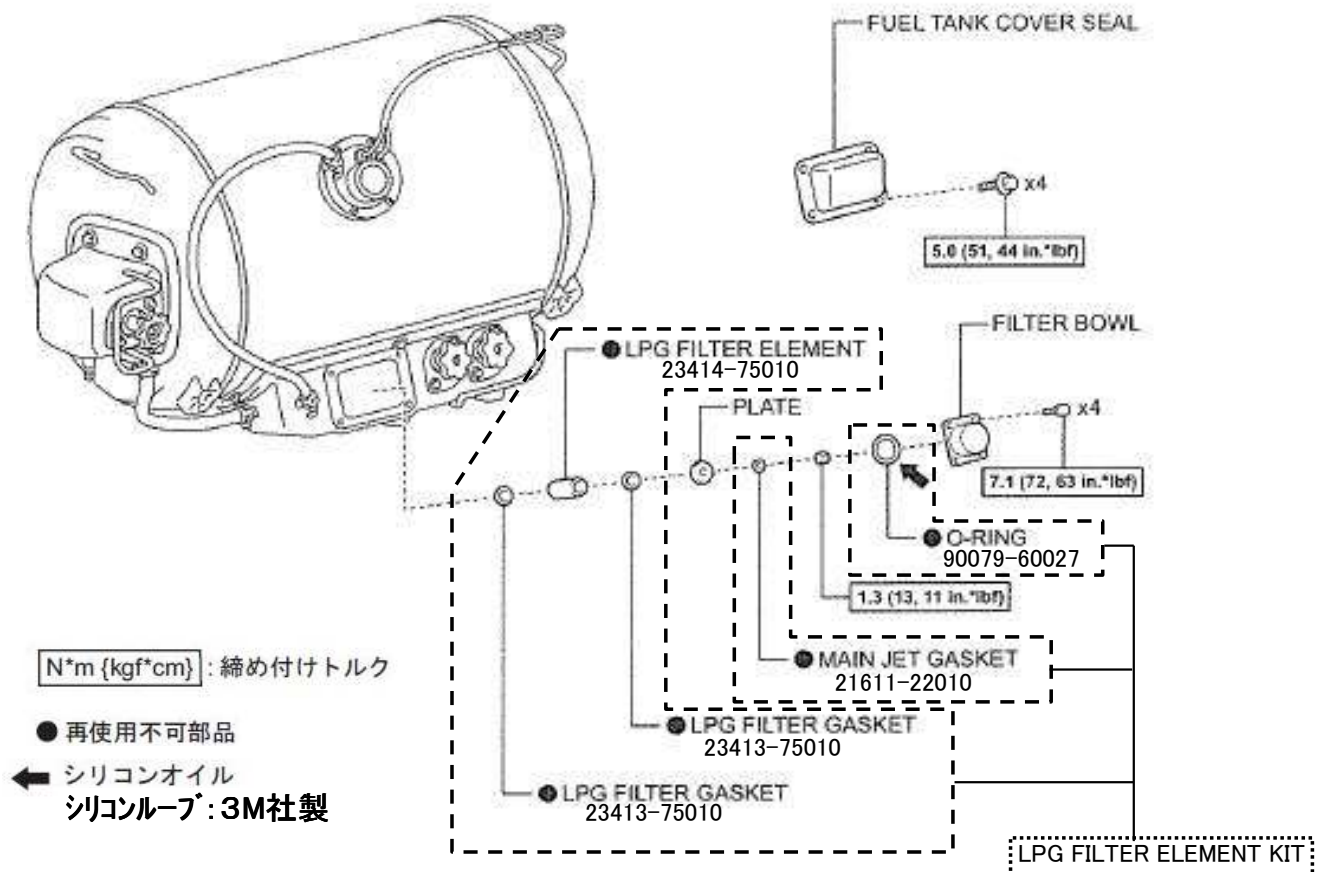
取り外し手順	作業補助図	取付手順
<p>1 ホルト4本を外し、フューエルセンダゲージ ASSYを取り外す。 ガスケットを取り外す。</p>		<p>フューエルセンダゲージに刻印されている「404W」と、バルンサー形状「角形」を確認の上、新品のガスケットを介して、ホルト4本でフューエルセンダゲージを取り付ける。 $T=17N\cdot m$</p> <p>1</p> <p>ガスケット: 90430-42255 ホルト: 91611-60825</p> <p>注1: ガスケット取付け部に異物を混入させない。 注2: 取り付けの際は、【フューエルゲージの識別方法について】を参照下さい。</p>



ガスケットが容器取り付け部にしっかりと配置された状態で、部品を固定してください。

高圧フィルタ取り外し,取付作業

取り外し手順	作業補助図	取付手順
<p>1 アンダーケースに付いているフューエルタンクカバーシールのボルト4本を外し、フューエルタンクカバーシールを外す。</p>		<p>3 フューエルタンクカバーシールを取り付け、ボルト4本で締め付ける。 $T=5.0N\cdot m$</p>
<p>2 フィルタホルルのボルトを4本取り外し、フィルタホルルとOリングを取り外す。</p>		<p>2 Oリングとフィルタホルルを取り付け、ボルト4本で締め付ける。 $T=7.1N\cdot m$</p>
<p>3 フィルタ固定用ナット1個を取り外し、 ・メインジェットガスケット、プレート、 ・フィルタガスケット2枚、 ・エレメント を取り外す。</p>		<p>1 図示通りの順序で ・フィルタガスケット2枚、 ・エレメント ・メインジェットガスケット、プレート、 を取り付けナットを締め付ける。 $T=1.3N\cdot m$</p> <p>注: エレメントに異物を付着させない</p>




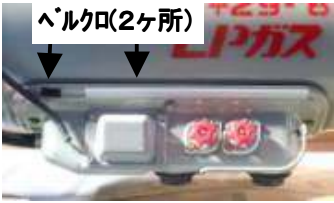
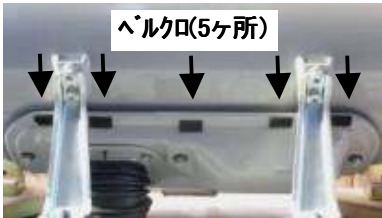




容器本体 気密確認作業

作業手順	作業補助図
<p>1</p> <p>(1)①ドレンプラグ、②ポンプASSY ③フューエルガステンバラチャセンサ(安全弁) ④フューエルセンダゲージ ⑤フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブ が容器に確実に取り付けられている事を確認する。 (2)メインバルブ、リターンバルブが閉じている事を確認する。</p>	 <p>① ② ③ ④ ⑤</p> <p>リターンバルブ メインバルブ</p>
<p>2</p> <p>(1)容器を反転し、ポンプ取り付け面を下へ向ける。 (2)加圧用ホースをフューエルタンクオーバーフィルチェックバルブに接続してバルブを開く。 (3)加圧ホースから圧力を徐々に加える。 (加圧力:0.06MPa) (4)メインバルブ、リターンバルブ取り付け部の気密確認を行う。</p> <p>注1:ポンプ取り付け面が上方を向いてるとフューエルタンクオーバーフィルチェックバルブが作動し加圧出来ない恐れがあります。</p>	 <p>加圧用ホース</p> <p>注2: 容器を反転させる際は、容器本体及び部品への傷付きに注意すること。</p> <p>メイン・リターンバルブ取り付け部</p>
<p>3</p> <p>(1)更に圧力を徐々に加える。 (加圧力:2.28MPa) (2)容器本体、付属品取り付け部及びメインバルブ、リターンバルブ取り付け部の気密確認を行う。</p> <p>注:指定圧力以上の加圧は行わないで下さい。部品が破損する恐れがあります。</p>	 <p>※矢印は付属品取り付け部を示す</p> <p>メイン・リターンバルブ取り付け部</p>

配管接続部 気密確認作業

作業手順	作業補助図
<p>4</p> <p>【ポンプ 取付手順】に従い取り付けが完了してからの作業を示す アダプタにホース配管を取り付け、ソケットヘキサゴンレンチ(6mm)を用いて、ボルト4本でアダプタへ取り付ける。 T=9.0N・m</p>	 <p>メインバルブ リターンバルブ</p> <p>アダプタ</p> <p>メインホース配管: 77260-43010 リターンホース配管: 77250-43010</p> <p>別途入手下さい</p>
<p>5</p> <p>(1)メインバルブ、リターンバルブが閉じていることを確認する。 (2)ホース配管側から徐々に加圧する。 (加圧力:3.9MPa) (3)配管接続部の気密確認を行う。</p> <p>注1: 指定圧力以上の加圧は行わないで下さい。部品が破損する恐れがあります。 注2: 気密確認の際、ハーネスコネクタを接続してから実施して下さい。</p>	 <p>メインバルブ リターンバルブ</p> <p>メイン・リターンホース配管反対側形状</p> <p>配管先端部ネジ形状(M14xP1.5)</p> <p>← 加圧</p> <p>注3: 気密確認後は、付属品及び容器本体に付着した水分を確実に除去して下さい。腐食や故障をする恐れがあります。</p>
<p>6</p> <p>(1)気密確認が終わったら、フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブを開き、タンク内のガス及び圧力を除去する。 (2)フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブに除圧用ホースを接続する。 (3)フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブを開き、真空引きを行う。 (真空度:-0.08MPa以上)</p>	 <p>除圧用ホース</p> <p>フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブ</p>

吸音材の仕様違いについて









		外観	ケース側の違い		
旧タイプ	鏡部 吸音材付				
	鏡部 吸音材無		<p>アンダーケース</p>  <p>ベルクロ(2ヶ所)</p>	 <p>ベルクロ(5ヶ所)</p>	<p>サイドケース</p>  <p>ベルクロ(2ヶ所)</p>
現行タイプ			<p>アンダーケース</p> 	 <p>ケース側にベルクロは付いておりません</p>	

注意点

- ・現行タイプのケースが付いている容器には、旧タイプの吸音材が使用出来ません。
必ず現行タイプの吸音材を使用してください。

吸音材	ケース	
	旧タイプ	現行タイプ
旧タイプ	○	×
現行タイプ	○	○





ハンドルの仕様違いについて: 充てんハンドル

		充てんハンドル(灰色)の相違			
充てん ハンドル (灰色)	旧タイプ	 旧ハンドル		 旧ねじ	 旧ジョイント
	現行タイプ	 77720-43011 ハンドルASSY		補給バルブに、あらかじめ 組まれています。	
				 77645-43040 ボルト	 77152-43020 ジョイント

再検査時の注意点

- ・再検査キットに現行タイプのハンドルASSYとジョイントが入っていますのでそちらを使用下さい。
- ・充てんハンドルの切替時期は、容器番号8,500番以前は旧タイプで、それ以降は現行タイプになります。8,500番以前でも、一部現行タイプに組替えてあるものもあります。

ハンドルの仕様違いについて:メイン、リターンハンドル

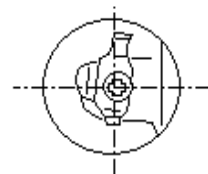
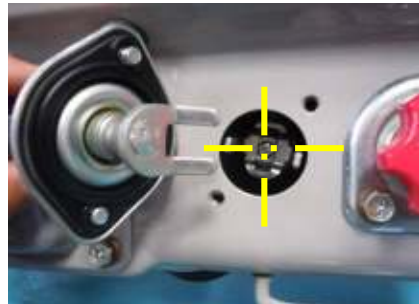
		メイン、リターンハンドル(赤色)の相違			
メイン リターン ハンドル (赤色)	旧タイプ	 旧ハンドル		 旧ねじ	 旧ジョイント
	現行タイプ	 77720-25011 ハンドルASSY		<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p>補給バルブに、あらかじめ 組まれています。</p>  77645-43040 ボルト  77152-43020 ジョイント </div>	

再検査時の注意点

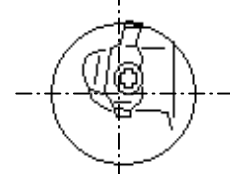
- ・再検査キットに現行タイプのハンドルASSYとジョイントが入っていますのでそちらを使用下さい。
- ・メイン、リターンハンドルの切替は、容器番号24,000番以前は旧タイプで、それ以降は現行タイプになります。

ハンドル組付の注意事項

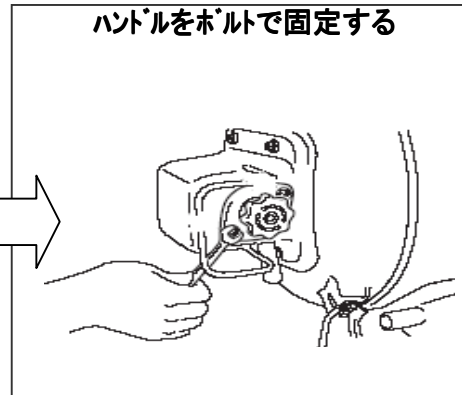
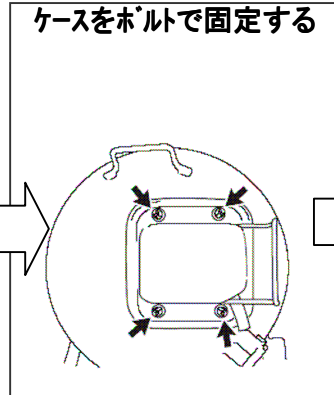
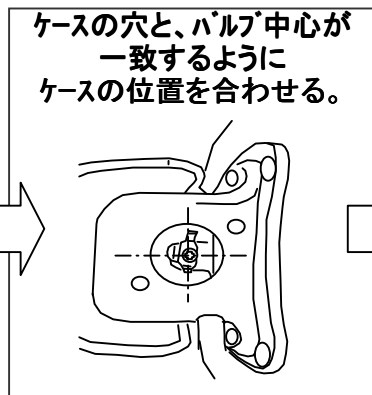
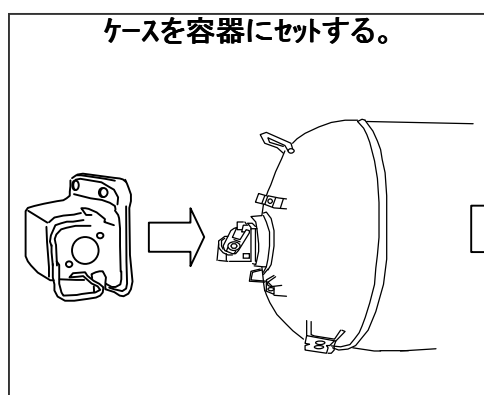
ハンドルの回転性を確保するために、ハンドルを組み付けるセミコンテナケースを容器に組み付ける際にケースの穴とバルブジョイント中心の芯あわせをして組み付けをしてください。(メイン、リターンハンドルも同様です)



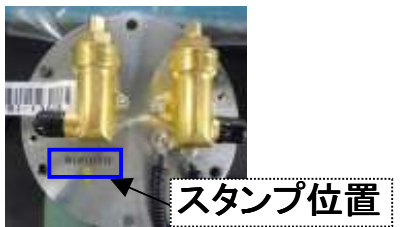


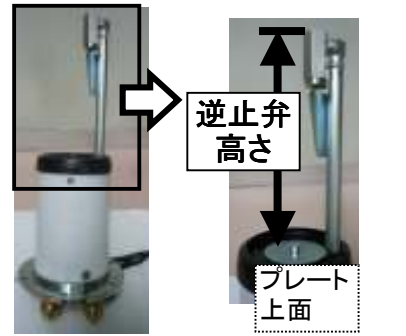
芯が合っている状態





芯が合っていない状態











ポンプフランジの識別方法について

容器記号		WME(コンフォート)	WKM(セトリック)	WSB(ダイナ)
部品品番 ハンドル付き		77020-43030	17904 VT43A	77020-25020
識別方法	車種スタンプ	WME	WKM	WSB
				
	容器記号と同じ記号がスタンプされています。			
	逆止弁高さ	約200mm	約180mm	約135mm
		容器により、逆止弁の高さが異なります。		

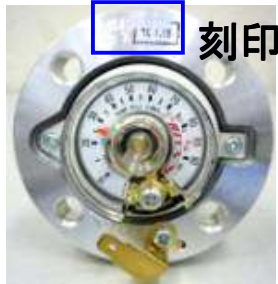







フューエルベーパーセパレーターバルブ(安全弁)の識別方法について

容器記号	WME(コンフォート)	WKM(セトリック)	WSB(ダイナ)
部品番号	77018-43020	17904 VT42A	77018-25160
センサー 取付方向	パイプ曲げ方向と異なる向き		パイプ曲げ方向と同じ向き
識別方法			

フューエルタンクオーバフィルチェックバルブ(過防弁)の識別方法について

容器記号	WME(コンフォート)	WKM(セトリック)	WSB(ダイナ)	WLM,WLL(旧コンフォート)
部品番号	77390-43011	17920-VT40A	77390-25010	77390-30060
	MV-F126	MV-F136	MV-F125	MVF100
刻印				
バルブ記号の刻印があります。				
識別方法				

フューエルゲージの識別方法について

容器記号		WME(コンフォート)	WKM(セトリック)	WSB(ダイナ)	WLM,WLL (旧コンフォート)
部品品番		83320-43042	25060 VT40A	83320-25110	83320-43010
識別 方法	車種刻印	404W	Y31	201W	059W
	 刻印部位				
	ゲージフランジ部に、車種刻印があります。				
	アーム balanser	角型 balanser	円柱型 balanser		
 balanser					
フロントアーム先端の balancer (おもり) 形状が、WME用は異なります。					